

臨床心理室

1. スタッフ構成(2025 年 3 月時点)

- 穂吉 眞之介(新生児内科主任部長、総合周産期母子医療センター副センター長、臨床心理室長)
- 青木 真妃、田邊 瞳、垣生 真由子、三好 真佑、田中 梨絵、武川 裕子

2. 認定資格取得(2025 年 3 月時点)

資格名	資格取得者
文部科学省・厚生労働省 公認心理師	青木真妃、田邊瞳、垣生真由子、 三好真佑、田中梨絵、武川裕子
日本臨床心理士資格認定 協会臨床心理士	青木真妃、田邊瞳、垣生真由子、 三好真佑、田中梨絵、武川裕子

3. 運営方針

- 常に患者さんやそのご家族のところに寄り添うことに努めます。
- 科をまたいでの継続的・長期的な支援、入院治療後の外来でのフォローや療育機関等との連携など、きめ細やかな心理的支援を行います。
- チーム医療の一員として他職種と連携を取り、心理学的知見を活用して、医療サービスの質の向上に貢献します。

4. 実績

<業務内容>

2004 年度から主に、総合周産期母子医療センター、小児科を中心に、心理業務を行っています。2017 年度からはスタッフ 6 名体制(正職員 2 名、非常勤職員 4 名)で対応しています。

- 総合周産期母子医療センター
 - 産前産後の母親へのメンタルヘルスケア(入院・外来)
 - NICU・GCUに入院中の赤ちゃん(早産、低出生体重児、先天性疾患、多胎児等)のご家族への心理的サポートおよび医療スタッフとの連携
 - ご家族への看取りのサポート、亡くなった後のグリーフケア(入院・外来)
 - 極低出生体重児(1,500g未満)を中心としたハイリスク児の発達検査、知能検査および発達相談(1歳半、3歳、6歳、8歳、11歳時)(外来)
 - 2週間健診でのフォロー
 - マザークラスでの講義(毎月1回:妊娠中から知ってほしい

■ 検査内容と依頼件数

	新生児内科		小児科		精神科		今治病院		新居浜病院		合計	
	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024
発達・知能検査												
遠城寺	4	6	0	1	0	0	0	0	1	2	5	9
新版 K 式	125	117	20	44	0	0	2	1	20	18	167	180
KABC	59	68	4	1	1	0	0	0	0	0	64	69
WISC	1	1	55	38	0	1	0	0	16	7	72	47
ビネー式	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	2

こころの変化)

- 小児科
 - 慢性疾患を持つ長期入院児およびご家族への心理的サポート(入院)
 - ご家族への看取りのサポート、亡くなった後のグリーフケア(入院・外来)
 - 心身症の児およびご家族へのカウンセリング(入院・外来)
 - 発達障害児およびその疑いのある児への発達検査、知能検査および発達相談(外来)
 - 虐待ハイリスクの児およびご家族への対応(入院・外来)
 - 福祉書類作成のための発達検査、知能検査(外来)
- その他
 - 成人診療科(入院・外来)および救命救急センター(救急外来・ICU)のカウンセリング
 - 腎移植第三者面談およびカンファレンス出席
 - 職員のメンタルヘルス(新人看護職員研修講師、個別のカウンセリング等)
 - 県立新居浜病院・県立今治病院への診療応援

<業務実績>

2024 年はスタッフ 1 名欠員期間(2024 年 9 月に補充)があったため、全体的な利用件数は減少しました。検査件数及び構造化面接の対応件数は横ばいですが、非構造化面接の対応件数が減少しました。

■ 臨床心理室利用件数

	2023	2024
検査	387	361
構造化面接	1,483	1,488
非構造化面接	1,726	1,348
合計	3,596	3,197

【検査】

- 医師の依頼による発達・知能検査および性格検査
- 知能検査は1回につき1～3時間
- 性格検査は1種類につき5分～1時間などさまざま、数種類の検査を組み合わせる実施することが多い

【構造化面接】

- 治療のため、面接時間や場所、回数等についての明確な契約を行った面接
- 外来においては基本50分(場合によっては90～120分)臨床心理室にて行い、入院においては20～60分程度、病棟の個室や面会室等にて行ったもの

【非構造化面接】

- 面接時間や場所等の明確な契約を行っていない面接
- NICU内での面談や病棟ベッドサイドでの面談、外来来院時の接触等が含まれる

WAIS	0	0	0	0	4	0	0	0	0	1	4	1
PARS	0	0	0	0	0	0	0	0	17	11	17	11
性格検査												
バウムテスト	0	0	20	12	1	0	0	0	0	0	21	12
P-F スタディ	0	0	19	11	0	0	0	0	0	0	19	11
ロールシャッハ	0	0	15	12	0	0	0	0	0	0	15	12
その他	0	6	1	1	1	0	0	0	0	0	2	7
合計	189	198	134	122	8	1	2	1	54	39	387	361

検査数は前年と比べて大きな変化はありませんでした。

■ 診療科別面接依頼件数

依頼内容	2023	2024
救急科		
自殺企図	1	0
事故、発病後の心理的フォロー	2	1
小計	3	1
産婦人科		
社会的ハイスルク	1	0
不安	11	8
グリーフケア(死産等)	9	11
胎児異常	1	1
気分の不安定さ	1	7
長期入院等による気分の落ち込み	2	3
産後うつ	4	0
小計	29	30
小児科		
心身症(疑い含む)*	26	16
食欲不振	0	1
抜毛症・爪噛み・チック症	1	0
腫瘍等	2	1
血液疾患	4	4
自己免疫疾患	7	5
脳症	1	0
事故、術後の心理的フォロー	1	2
児の疾病に対する家族の不安	1	4
発達障害(疑い含む)	1	3
性格行動相談	0	2
腎疾患	0	1
小計	44	39
泌尿器科		
腎移植ドナー	18	16
移植後の心理的フォロー	1	0
腎移植レシピエント	0	1
小計	19	17
皮膚科		
脱毛症	0	1
疾病に対する不安	0	1
小計	0	2
消化器内科、消化器外科		

不安・うつ	0	3
心身症疑い・心因性の疑い	4	0
小計	4	3
呼吸器内科		
不安・うつ	0	1
心臓血管外科		
長期入院による気分の落ち込み	0	1
術後の気分の落ち込み	2	0
小計	2	1
脳神経内科、脳神経外科		
脳腫瘍	0	1
不安	0	1
発病後の心理的フォロー	0	1
小計	0	3
整形外科		
自殺企図	1	0
不安	0	1
事故後のフォロー	0	4
小計	1	5
精神科		
うつ病・うつ状態	1	1
自殺企図	1	0
不安障害	0	1
小計	2	2
腎臓内科		
気分の落ち込み	0	1
小計	0	1
眼科		
視力低下への不安	1	1
ペインクリニック		
不安	1	0
漢方内科		
うつ状態	1	0
新居浜病院		
小児科	2	9
職員メンタルヘルス	6	5
合計	115	120

* 起立性調節障害、食欲不振、頭痛、胃痛、腹痛、過敏性腸症候群、関節痛、嘔吐、めまい等の症状を伴う

面接依頼件数は、前年とほぼ同様でした。小児科、産婦人科、腎ドナー面接が多くを占めています。

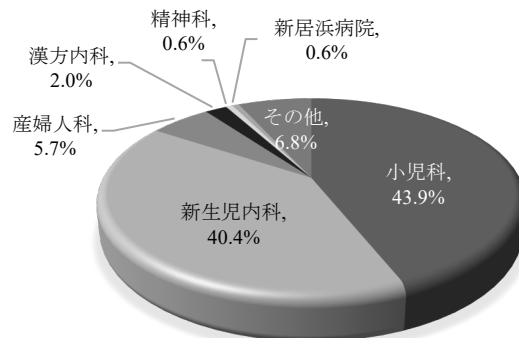
新生児内科については、2019 年 4 月から NICU 入院児全例に介入することとしているため、新生児内科からの依頼は計上していません。

■ 構造化・非構造化面接回数

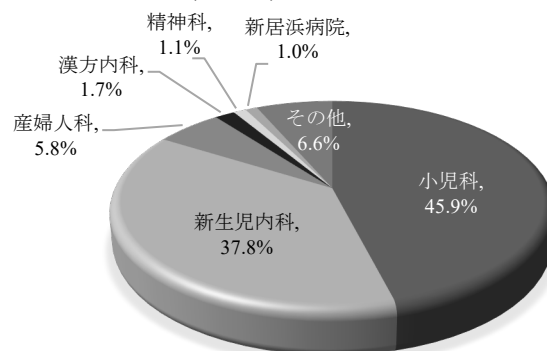
	構造化		非構造化	
	2023	2024	2023	2024
入院				
救急科	21	16	5	5
新生児内科	21	11	1,126	911
小児科	281	249	217	92
小児外科	20	0	0	0
整形外科	10	11	4	1
脳神経外科	0	7	0	1
脳神経内科	0	3	0	1
眼科	4	0	0	0
消化器内科	21	16	10	7
消化器外科	0	2	0	2
循環器内科	0	0	0	3
心臓血管外科	4	2	1	0
呼吸器内科	0	2	0	0
腎臓内科	0	1	0	4
皮膚科	0	1	0	0
産婦人科	72	68	30	15
漢方内科	0	0	0	2
外来				
総合診療科	5	3	0	0
新生児内科	10	29	147	122
小児科	765	811	155	151
小児外科	20	2	0	1
整形外科	0	2	0	1
眼科	0	3	0	0
消化器内科	8	3	1	1
消化器外科	8	11	0	5
ペインクリニック内科	19	24	2	1
乳腺・内分泌外科	5	0	0	0
精神科	16	27	4	4
腎移植ドナー・レシピエント	17	12	0	0
泌尿器科(腎移植以外)	5	5	0	0
皮膚科	0	9	0	1
産婦人科	65	72	16	9
漢方内科	62	46	3	1
その他				
新居浜病院	20	29	0	0
今治病院	0	1	0	7
職員メンタルヘルス	24	10	5	0
合計	1,503	1,488	1,726	1,348

構造化面接については、総数としては同程度の対応件数ですが、小児科外来での対応件数は増加していました。非構造化面接については、1 名スタッフ欠員の期間があったため、全体的に対応件数が減少していました。

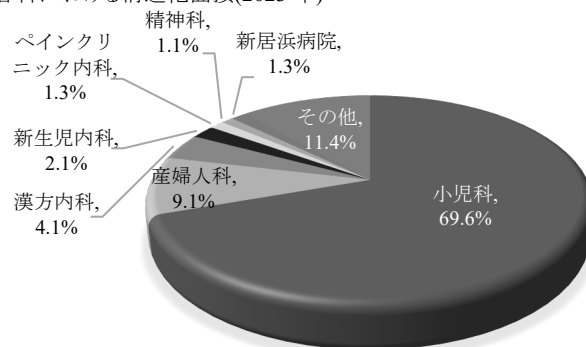
■ 各科における面接回数(2023 年)



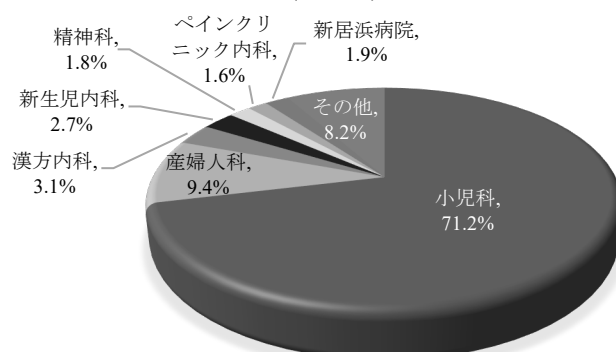
■ 各科における面接回数(2024 年)



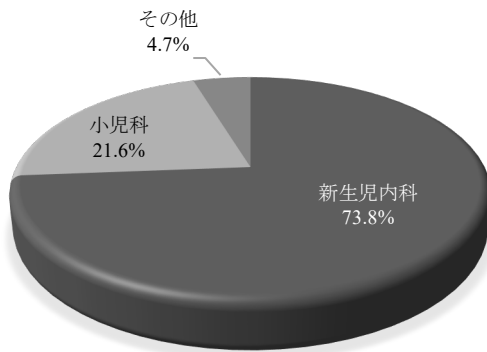
■ 各科における構造化面接(2023 年)



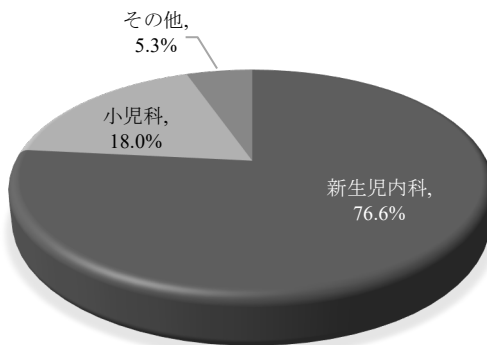
■ 各科における構造化面接回数(2024 年)



■ 各科における非構造化面接(2023 年)



■ 各科における非構造化面接(2024 年)



■ 電話対応件数

	2023	2024
相談※ ¹		
新生児内科	13	7
小児科(小児外科含む)	17	27
産婦人科	1	5
精神科	8	10
その他の診療科	2	0
新居浜病院	2	0
その他	0	1
小計	43	50
地域連携※ ²		
新居浜病院	16	17
今治病院	4	10
松山市子ども総合相談センター	3	0
愛媛県福祉総合支援センター	11	25
その他	20	18
小計	54	70
予約※ ³		
新生児内科	82	124
小児科(小児外科含む)	116	109
産婦人科	1	5
その他の診療科	3	8
新居浜病院	5	1
今治病院	2	1
その他	3	1
小計	212	249
その他		
新生児内科	6	5

小児科(小児外科含む)	2	7
新居浜病院	0	1
その他	1	3
小計	9	16
合計	318	385

※1)電話による相談

※2)県や市町等の機関との連携

※3)外来のカウンセリング予約や定期の発達検査等の呼び出しを含む

■ 検査結果説明※

	2023	2024
新生児内科	2	3
小児科	59	82
精神科	3	1
今治病院	2	0
合計	66	86

※知能検査や性格検査の結果や、それを踏まえた今後の対応について、後日、保護者やご本人に対して説明

■ IC 同席※

	2023	2024
新生児内科	44	23
小児科	4	8
産婦人科	1	1
その他	2	2
合計	51	34

※治療方針の情報共有とともに、IC 時のご本人やご家族の様子を踏まえて、IC 後に心理的フォローを行う

■ カンファレンス出席※

	2023	2024
新生児内科	5	0
小児科	21	23
産婦人科	4	9
腎移植	14	11
中四国小児がん支援部会	2	2
AYA 世代支援チーム	4	5
がんサージカルボード	3	0
関係機関	19	13
今治病院	3	4
新居浜病院	10	0
その他	5	25
合計	90	92

※他科とのケースカンファレンス:コメディカルとして出席し、心理的な見立てについての情報提供や今後の支援の方向性についての情報共有や意見交換等を行う

■ 情報提供※

	2023	2024
保護者・本人	227	251
新居浜病院	55	49
今治病院	7	5
その他	35	31
合計	324	336

※当院での心理検査結果やカウンセリング記録を保護者の了承のもと他機関へ情報提供したもの

■ 院内研修講師等

開催日	研修会	テーマ	講師
4月8日	新規採用看護職員I期オリエンテーション	メンタルヘルス	青木真妃
5月9日	新規採用看護職員研修	ストレスマネジメント	青木真妃
6月5日	看護部固定チームリーダー研修	アサーティブコミュニケーション	青木真妃

■ その他の活動

委員会およびカンファレンス	参加者
治験審査委員会/臨床研究審査委員会	青木真妃
虐待防止委員会	青木真妃
中国四国ブロック小児がん相談支援部会	田邊瞳
AYA 世代がん患者支援チームカンファレンス	田邊瞳
小児病棟化学療法カンファレンス	担当者
小児病棟院内学級カンファレンス	担当者
グリーフケアワーキンググループ	垣生真由子
BFH 連携会	青木真妃
腎移植カンファレンス	担当者
愛媛県福祉総合支援センター連絡会	青木真妃
松山市子ども総合相談センター連絡会	青木真妃

5. 2025 年度目標

- 患者さんやご家族の不安や葛藤に寄り添います。特に、親子が絆を結び、育てていく時期である周産期～小児期を中心として、きめ細やかな心理的支援を行います。
- チーム医療の一員として他職種と連携しながら、患者さんやご家族のケアに取り組みます。
- スタッフのより一層の技術の向上に努めます。

6. 学術関係

(1) 学会発表および講演

- 垣生真由子、穂吉眞之介、矢野薫、平野美輪、青木真妃、三好真佑、田中梨絵、小林雅代. 極低出生体重児の就学前健康診査において KABC-II を用いた結果の検討. 第 51 回ハイリスク児フォローアップ研究会. 浜松 (2024.6.2)

(2) 論文・著書

- 垣生真由子. 【重なり合う支援のかたち～周産期心理士のメッセージ～】 NICU からフォローアップへつながる支援. 赤ちゃんを守る医療者の専門誌 with NEO 37 巻(1 号). 109-111 (2024.2)